

会津駒ヶ岳山行報告

【山行日】 2015年7月26(日) 快晴
【集合】 栃木市運動公園P AM 3:00
【費用】 マイカー2台 : 2,400円
【メンバー】 CL:鈴木、大西、香川、
島田、関、藤原、石川(体験山行)
【コースタイム】 栃木市運動公園 3:00＝
駒ヶ岳登山口 P5:20/5:40～水場 7:15～
会津駒の小屋 9:00～会津駒ヶ岳 9:20～中門
岳 10:00/10:25～駒ヶ岳分岐 11:05/11:35～
駒の小屋 11:50/12:00～水場 13:10/13:20～
駒ヶ岳登山口 14:40/14:50＝栃木市運動公
園 P17:45



夏の北アルプス山行に向けた、最終トレーニング山行として計画した。今回は、体験山行でさんが参加され7名での山行となった



。ハクサンコザクラの時季で、登山口駐車場の混雑が予測されるので、AM3:00出発とした。登山口には予定より早く着いたが、今年一番の賑わいですでに登山口駐車場は満車。皆を登山口に下ろし、下の駐車スペースに車を置いてくる。皆は先に出発し、待っていてくれたKさんと後から追いかける。登山口には立派な木製の階段があり、ここから登り始める。

階段を登った先で、先行隊に追いつく。のっけから急登でつらいが、ゆっくりマイペースで登る。何組も追い越されるが、途中で追い越すことになる。カラマツやミズナラの樹林帯を登り、ヘリポート跡を過ぎるとブナの原生林を歩くようになる。登山道は整備され、木柵の中に玉石を詰めた道は段差が無くとても歩き易かった。高度があがると、左手に日光連山が見えるようになり山座同定を楽しみながら歩く。さらに急登が続き、しっかり汗を絞られた頃、中間地点の水場に着き休憩する。スイカを食べて、水分を補給する。水場から少し登ると、傾斜が緩くなりダケカンバが見られるようになる。やがて木道が現れると、樹林帯も終わり右側が開け湿原に出る。湿原にはベンチがあり、北側に会津駒ヶ岳の山頂も姿を見せ、絶好の休憩場所。山頂を眺めながら、オレンジを美味しくいただく。灌木帯を抜けると大きな傾斜湿原を階段状の木道で登るようになる。チングルマやコバイケイソウ、タテヤマリン



ドウ等の花々が疲れを癒してくれる。花を楽しみながら登り、駒の小屋に着く。小屋の後ろには、立



派なトイレがあり登山者にはとてもありがたい。小屋の直下には駒ノ大池が静かに横たわり、周りにはハクサンコザクラの可愛らしい花が風にそよいでいる。大池の畔を歩いて、会津駒ヶ岳山頂へ向かう。木道を忠実に辿り、山の西側を巻く道から分岐を右に登ると山頂に着く。山頂には、大きな標柱と一等三角点があるが、周囲を樹林に囲まれ眺望はあまり得られない。山頂からは、北側へ中門岳に続く稜線を降りて行く。ここから中門岳への稜線歩きは雲上のスカイラ

イン。湿原の中に木道が設置され、咲き誇る高山植物が風に揺れる中を爽快に歩いて行く。まさに南会津の高層湿原の素晴らしさを十分に満喫できるコースだ。途中残雪を超え、残雪の越後三山を見ながらの稜線散歩を楽しむ。中門岳は平らな湿原の池塘に、大きな標柱とベンチがあるだけで、およそ山頂とは思えな



い。のんびり景色を楽しみながら、トマトや菓子をいただき、記念写真を撮って来た道に戻る。途中、会津駒ヶ岳への分岐にあるベンチで昼食とする。今日の山ごはんは、そうめんと厚焼き玉子。景色を楽しみながら、ゆっくりランチを楽しみ駒の小屋まで戻った。小屋でトイレを済ませ、水分を補給して下山する。途中、水場で大休止しSさんとSeさんは水場に降りて冷たい水をゲット。

皆さんも冷たい水を飲ませてもらい元気が出た。最後の休憩から、我輩が快足を飛ばし駐車スペースまで駆け降りる。車で登山口駐車場まで戻ると、皆さんが下山してきた。

いつものように、道の駅「たじま」に寄りソフトクリームを食べたり、お土産を買ったりしたが、予定より45分早く栃木市運動公園へ着いた。

体験山行のIさんも、「ペースも丁度よく気軽に接してくれたので、とても楽しかった。」と言ってくれ、即入会されることになった。

